

個人投資家向け IRセミナー

2024年 3月15日



株式会社 東邦システムサイエンス

<https://www.tss.co.jp/>

証券コード：4333 東京証券取引所 プライム市場

目次

1. TSSの目指す姿と実績

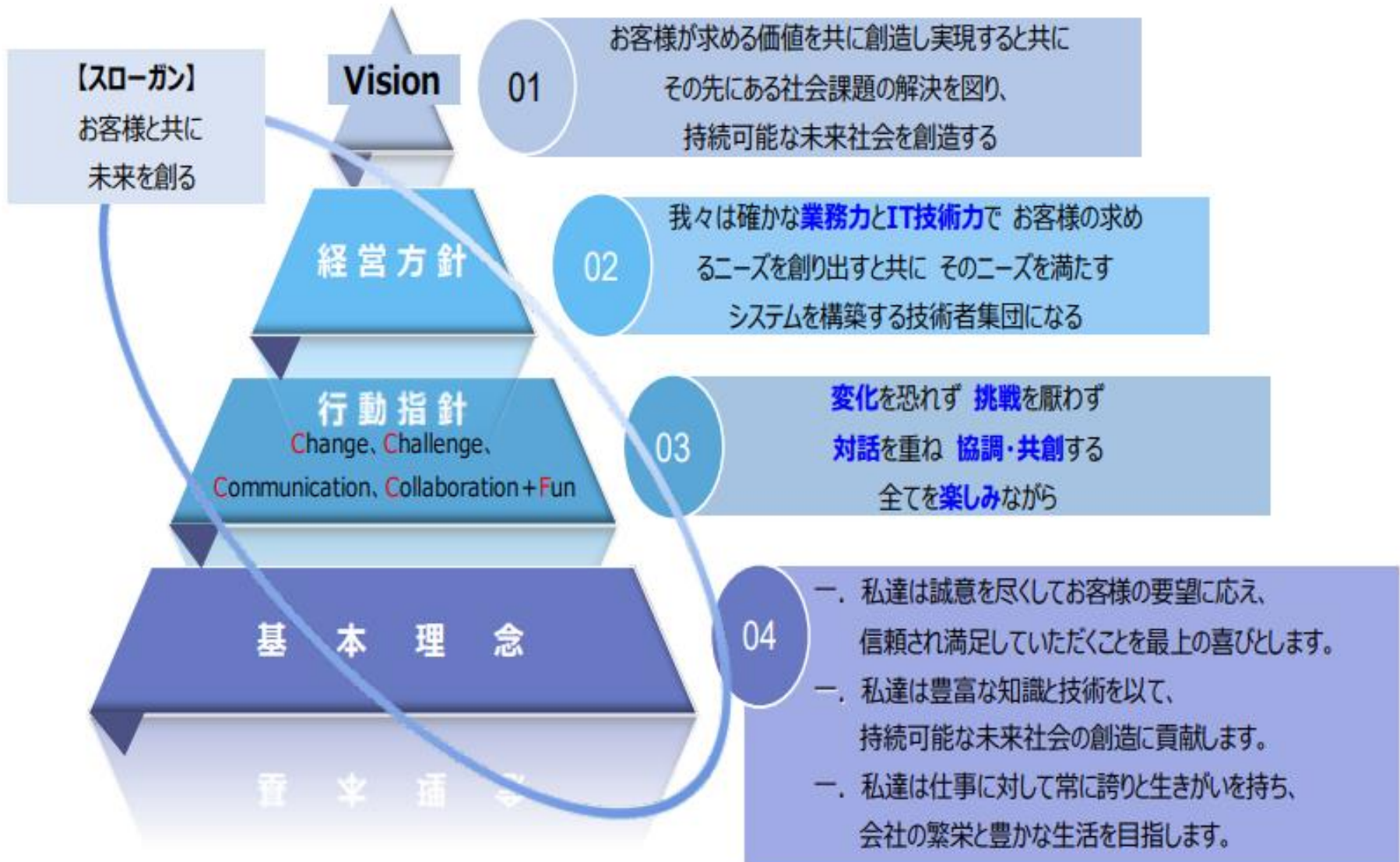
2. TSSの強み（企業価値の源泉）

3. 更なる成長に向けて（成長戦略）

4. 株主還元

1. TSSの目指す姿と実績

当社の目指す姿 (Vision)



TSSの目指す姿（マテリアリティの特定）

マテリアリティ	関連するSDGs目標	具体的な開発事例 自社対応等
豊かな未来社会	   	・通信サービスシステム開発 ・各種DX対応開発 ・パートナー会社との協業
安心・安全な未来社会	    	・生命保険、損害保険システム開発 ・災害対策システム開発 ・電力供給システム開発
生きがいのある未来社会	     	・高齢者向け対話サービス開発 ・多様な人財の雇用機会の創出 ・充実した教育体制
透明性の高いガバナンス	  	・コンプライアンスの遵守 ・透明、公正な意思決定プロセス

事業を通じた社会課題の解決

当社は、法人企業様向けのシステムを構築・提供しています

保険会社



銀行



証券会社



当社は、提案～開発、保守までトータルにシステムを提供する**Sler**です



公共機関



通信会社



事業を通じた社会課題の解決（保険）

医療保険



個人年金保険



健康保険



火災保険



自動車保険



ゴルフ保険



インターネットトレード



FX



ビットコイン



インターネットバンキング



投資信託



NISA



事業を通じた社会課題の解決(その他金融)

クレジット 入会審査



クレジット与信審査



ポイント管理



火災共済



医療共済



AIエージェント



マイナンバー



医療



流通



運輸

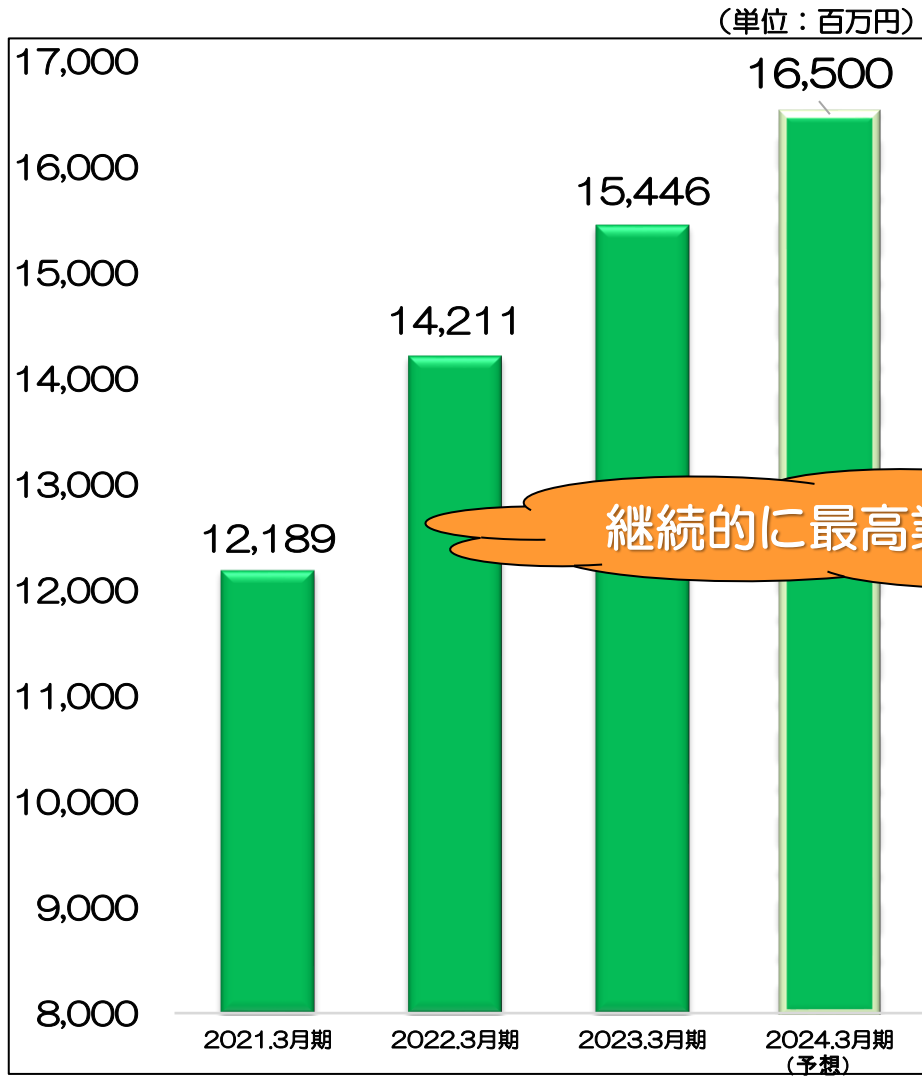


配電管理

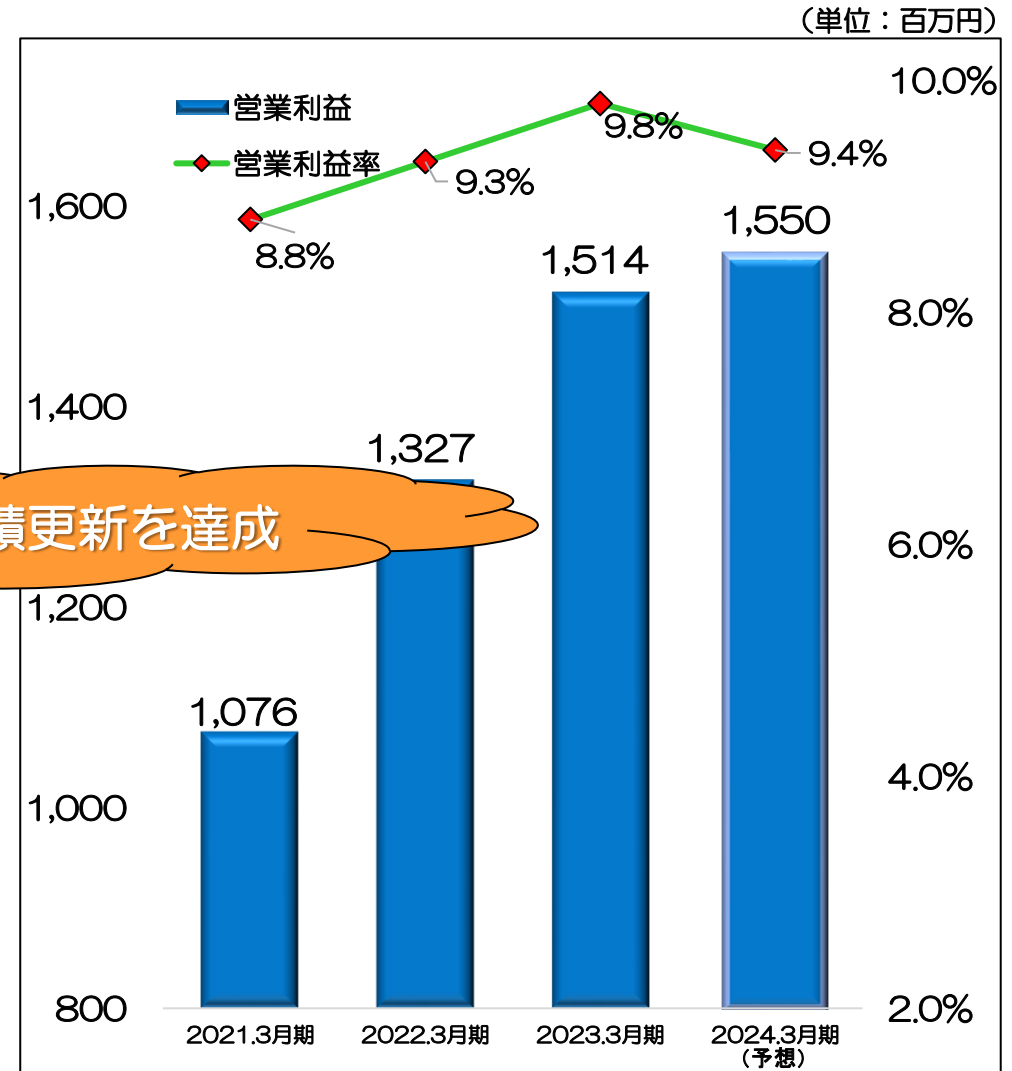


売上高・営業利益・営業利益率の推移

売上高の推移



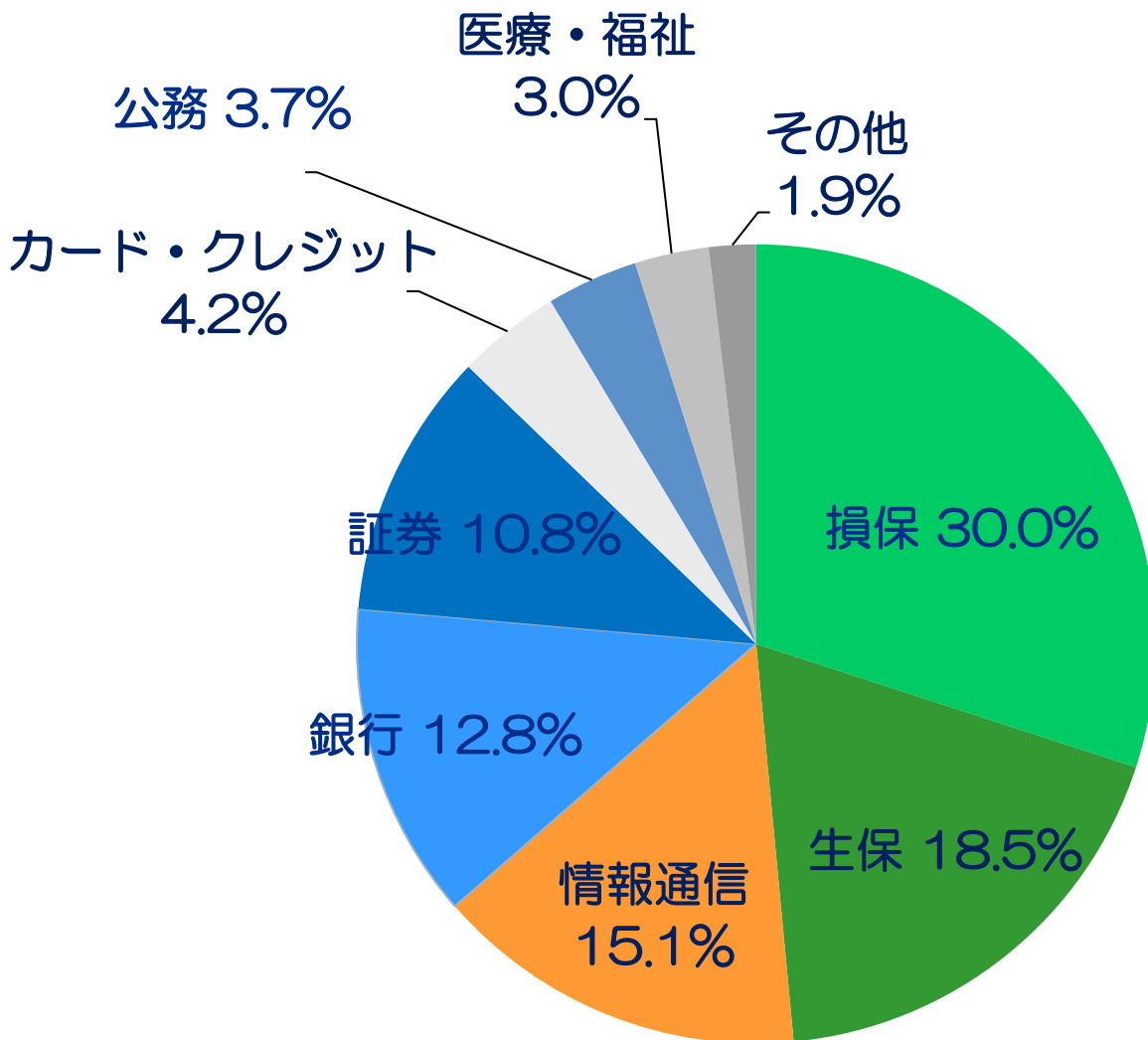
営業利益と営業利益率の推移



継続的に最高業績更新を達成

2. TSSの強み（企業価値の源泉）

(単位：百万円)



(2023年3月期)

業 種	売上高	対前年比
損 保	4,631	122.5%
生 保	2,852	98.2%
情報通信	2,333	114.5%
銀 行	1,979	110.6%
証 券	1,665	91.3%
カード・クレジット	651	131.4%
公 務	575	225.9%
医療・福祉	465	50.8%

多数の優良顧客との継続的な取引

ユーザー



第一生命情報システム(株)

ニッセイ情報テクノロジー(株)

あいおいニッセイ同和損害保険(株)

東京海上日動火災保険(株)

三井住友トラスト・システム&サービス(株)

日興システムソリューションズ(株)

メーカー



日本アイ・ビー・エム(株)

日本電気(株)

(株)日立製作所

富士通(株)

主要Sier等とのパートナー契約



(株)野村総合研究所



e/パートナー

SCSK(株)



コア10パートナー

(株)NTTデータ



ビジネスパートナー

BIPROGY(株)



2023年度 ビジネスサポートパートナー

資格取得



業務系

370 名

銀行業務検定協会（金融経済、財務、税務、証券、保険販売）
日本証券業協会（一種外務員、二種外務員）
ファイナンシャル・プランニング技能士 等

技術系（情報処理）

782 名

情報処理技術者資格（高度、応用、基本）

技術系（ベンダー）

709 名

オラクルマスタ（Platinum、Gold、Silver、Bronze）
Javaプログラマ（Gold、Silver） 等

研修受講

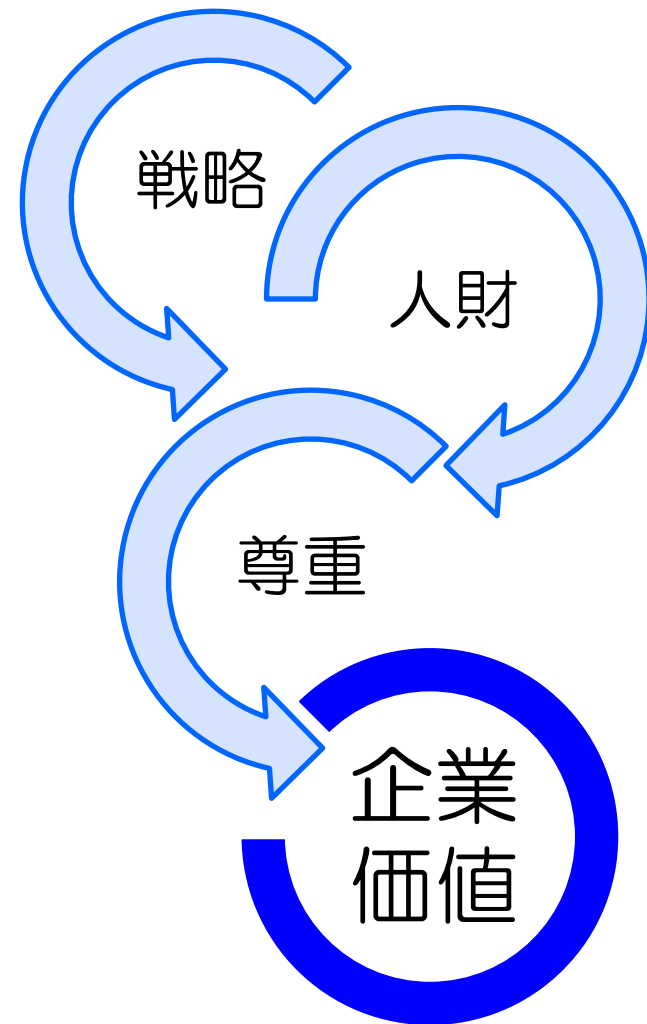


ヒューマンスキル

階層別研修
人材育成基礎講座
トレーナー制度

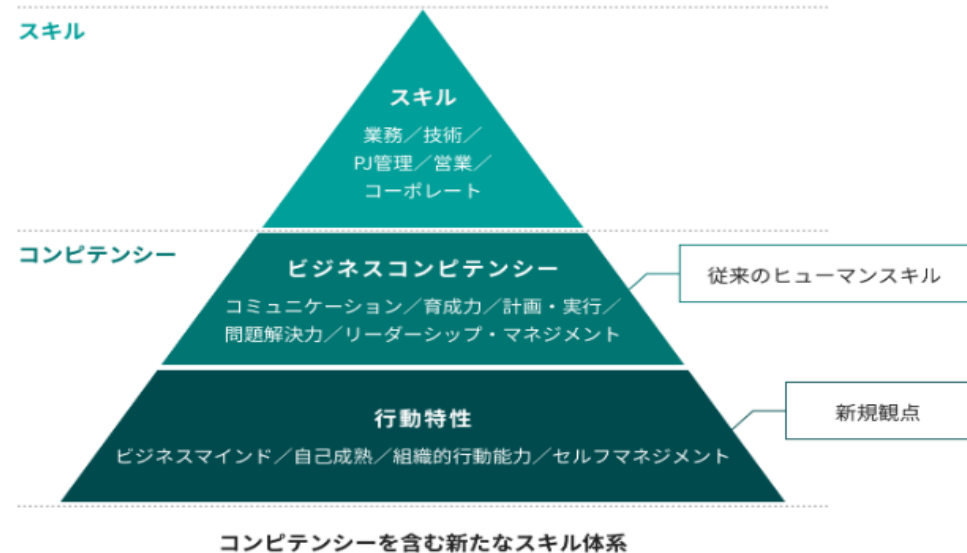
マネジメント

プロジェクト・リーダー養成講座
プロジェクト・マネジメント研修
管理職研修



戦略と人財

- ◆コンピテンシーを含む**新たなスキル体系**
- ◆能力の多様性を活かす**タレントマネジメントシステム導入中**



相互尊重の文化

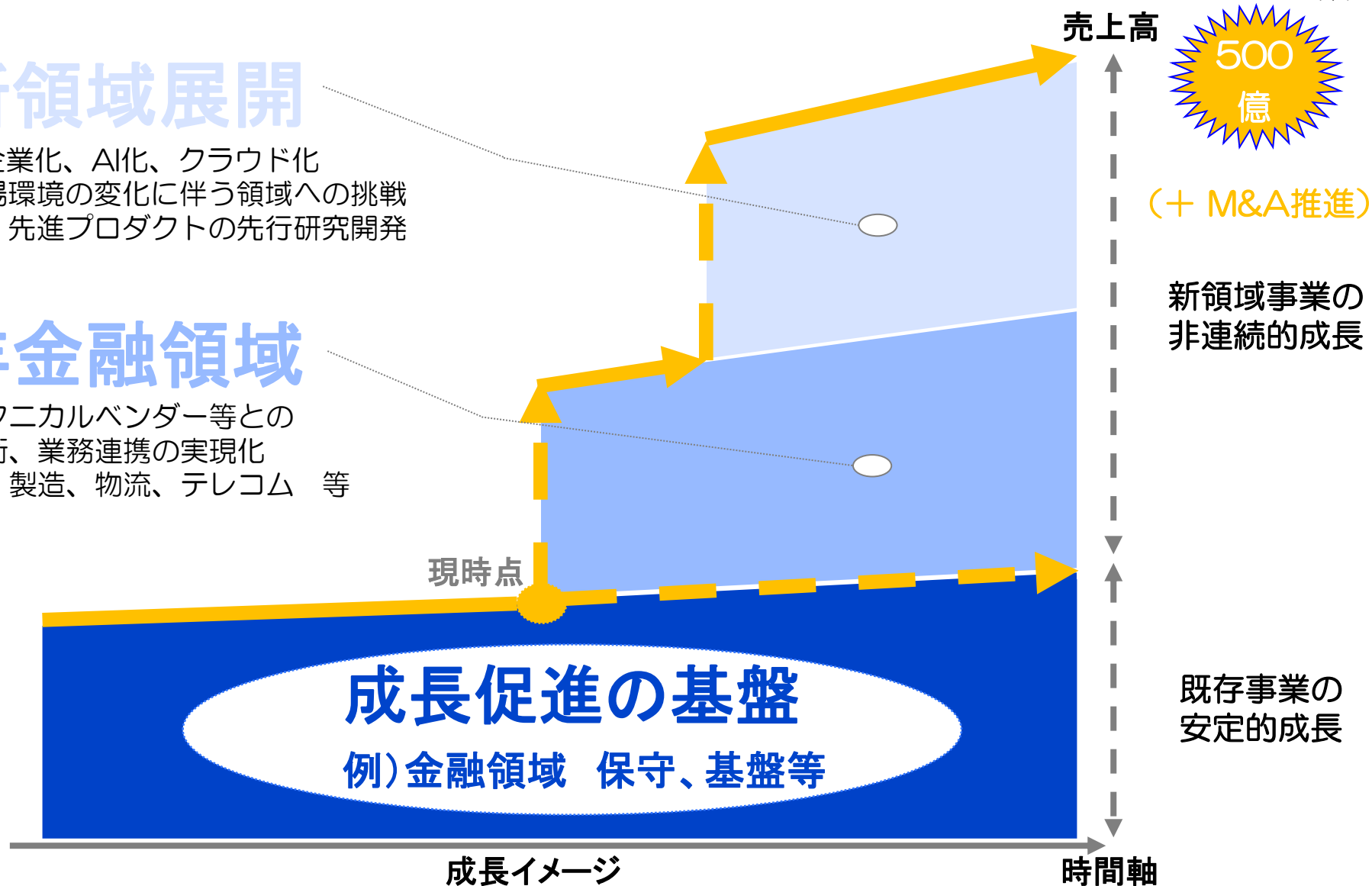
- ◆互いの考えや意見を尊重し、褒め称え合い、労い合う
- 女性活躍推進企業「えるぼし認定 2つ星★★」取得**

新領域展開

IT企業化、AI化、クラウド化
市場環境の変化に伴う領域への挑戦
例) 先進プロダクトの先行研究開発

非金融領域

テクニカルベンダー等との
技術、業務連携の実現化
例) 製造、物流、テレコム 等



3. 更なる成長に向けて（成長戦略）



革新

【TIB2.0】トラディショナルITビジネス2.0（売上115億）

【方針】お客様の大切なソフトウェア資産を高い品質レベルで維持管理

挑戦

【DIB2.0】デジタルITビジネス2.0（売上80億）

【方針】お客様が構築する新たな付加価値サービスの支援

創造

【CIB2.0】クリエイティブITビジネス2.0（売上5億）

【方針】自分達が生み出すサービスで企業や社会に貢献

強化

経営基盤の強化2.0

【方針】DX人財確保・育成、高い株式流動性の確保、ガバナンス強化、サステナビリティ推進

事業ポートフォリオの変革（イメージ）

CIB

- 先進プロダクトの先行研究開発に伴うビジネス化
- 自社プロダクトの活用に伴うソリューション展開

DIB

- テクニカルベンダー等との技術、業務連携の実現化
- デジタル技術の習得拡大
- 大手SIerとの教育プランの活用検討

TIB

- パートナシップの構築
- 共同プロジェクトの展開
- マネジメント力の強化
- 協業各社のソリューションの活用

【重点施策】

④ サービス
ビジネス
の構築

③ デジタル
ビジネス
への注力

① 開発力の強化

② 事業
ポート
フォリオ
の変革

⑤ 経営基盤の強化
⑥ 株式の流動性確保とガバナンスの強化
⑦ サステナビリティ経営の推進

現時点

時間軸

重点施策ハイライト

■ 通期業績予想を達成すべく、7つの重点施策を推進中

1	開発力の強化	- DX開発推進センターによるDX人材のOJT育成 - 組織を横断的に支援する社内PMOの充実
2	事業ポートフォリオ の变革	非金融ソリューション案件の獲得に注力 (通信や公共、製造、流通、放送、運輸領域等)
3	デジタルビジネス への注力	- DX基盤の要「クラウド」「AI(データ分析)」 - DX開発のプロセス「アジャイル開発」
4	サービスビジネス の構築	- スマホ活用による証券業務の運用サービス - 海外との融合ソリューションの開発サービス
5	経営基盤の強化	- IT事業への先行投資 - M&A推進にかかる戦略投資(事業規模拡大)
6	株式の流動性確保 ガバナンスの強化	- 広報・IRの強化、株主還元施策 - 取締役会の機能性向上
7	サステナビリティ経営 の推進	- 経営推進の開示(サステナビリティサイト) - ESG評価機関を通じた投資家との対話促進



DX案件
受注

利益
拡大

攻めの投資の創出
↓
持続的な成長機会

成果の厚みが増す
循環構想
(企業価値の源泉)

DX人材育成

持ち帰りによる
効率的開発

■テキスト生成

- FAQ作成
- 要約（文章骨子作成含む）



■問い合わせ

- 情報検索
- 相談（ロープレ）



■表計算

- テキストデータ変換

	A	B	C
Q	1	3	4
W	4	5	6
R	7	8	9



市場予測 + 支援（事業・人的・技術）



価値共創の実現

資本業務提携(システム開発体制の構築)

TSS

互いに強みとする
事業領域及び付加価値サービス
を活かし、組み合わせる



NSSOL

- DX推進対応力の向上
- 質の高いサービスの提供
- DX推進の加速

2023年12月19日「TSSとNSSOLが資本業務提携契約を締結」公表



2024年1月25日「salesforceよりパートナーに認定」

自 助
努 力

2024年1月

東証プライム市場（上場適合）

2014年3月

東証一部 指定

2007年3月

東証二部 上場

2023年12月 資本業務提携

日鉄ソリューションズ（株）

DX推進の加速
高品質サービスの提供

2011年4月 合併

（株）インステクノ

損害保険分野の強化

2005年12月 営業全部譲受

（株）テムス

社会公共分野の強化

2005年4月 合併

（株）中野ソフトウェア・エース

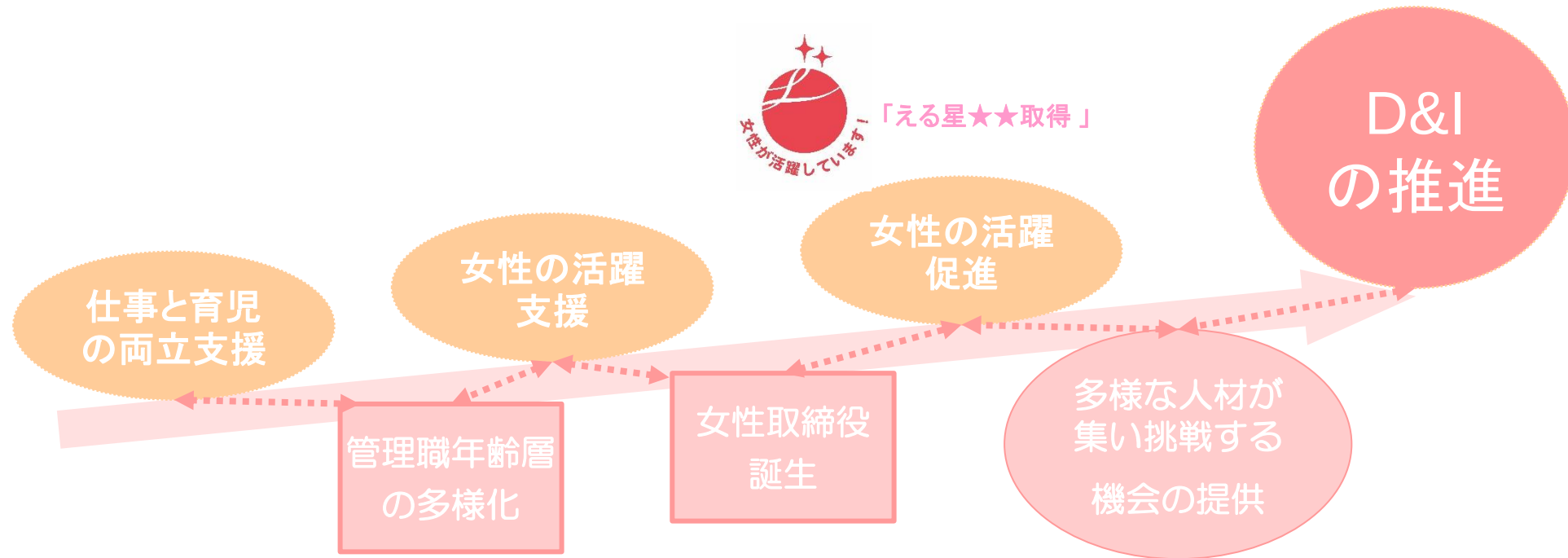
通信分野の強化

A 社
買 収

500
億

買 収
提 携
シナジー

ダイバーシティ&インクルージョンの推進



経営機能の強化と未来の経営人財の育成

	2023年度	2024年度	2027年度
従業員割合(女性)	25.4%	26%以上	30%以上
管理職割合(女性)	9.6%	11%以上	13%以上

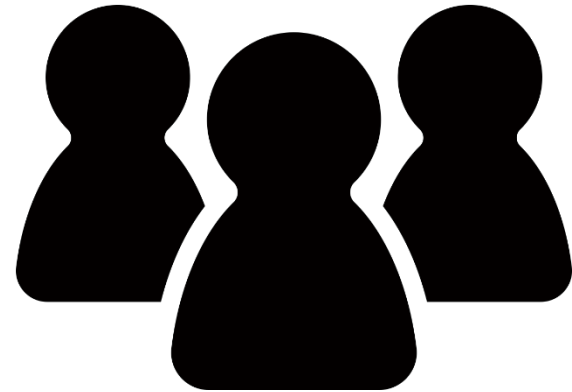
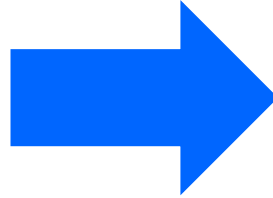
全従業員を対象とした譲渡制限付株式(RS)の付与

2024年2月15日「全従業員を対象とした譲渡制限付株式(RS)の付与」公表

全従業員を対象
(4月以降 新入社員も対象)



普通株式100株 / 人



全従業員の視点・視座を高め、より一層の事業成長へ

サステナビリティ経営の推進（達成指標実績）

豊かな未来
社会

安心・安全な
未来社会

生きがいのある
未来社会

透明性の高い
ガバナンス

■サステナビリティ経営の推進

- CDP気候変動レポート2023

C ⇒ B-

※「B-」スコアは「環境によるリスクやその影響の管理を実施している」と評価されたことを示すもの

■TCFD提言に基づく情報開示

- TCFD等非財務情報の開示「指標と目標」

⇒再生可能エネルギー導入（非化石証書購入）

CO₂削減量 113t-CO₂（2022年度比34%以上減）
『2030年 CO₂34%削減目標』を前倒しで実現

期待価値の創出

財務的価値＋非財務的価値

（今見えている＋今後期待される）



企業価値の更なる向上

4. 株主還元

重要な株主還元

長期にわたる
安定的な配当

株主優待制度
の拡充

【株主還元施策①】株式分割及び増配

分割比率

1:1.5

分割基準日：2023年8月31日

効力発生日：2023年9月 1日

目的

株式の流動性の向上、投資家層の拡大

配当

年間配当（40円）を据え置き（実質的な増配）

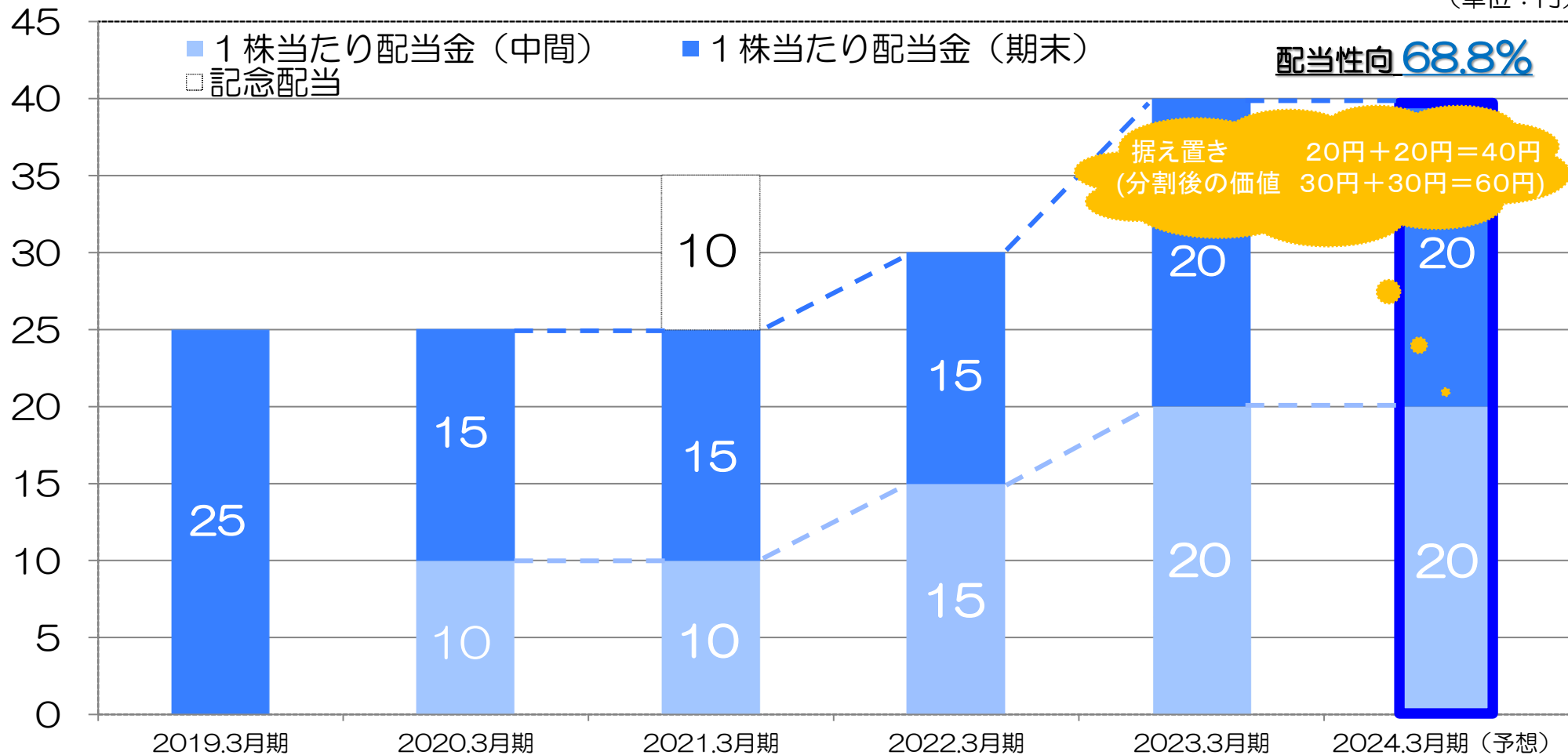
据え置き	20円 + 20円 = 40円
(分割後の価値)	30円 + 30円 = 60円

【株主還元施策②】長期にわたる安定的な配当

基本方針

長期安定的な株主還元、事業拡大のための資金確保（配当性向**40%**程度）

（単位：円）



【株主還元施策③】株主優待制度の変更(拡充)

変更内容

保有株式数	現行
100株以上 200株未満	クオカード 1,000円分
200株以上	クオカード 2,000円分



保有株式数	変更後
100株以上	クオカード <u>2,000円分</u>

変更時期（適用条件）

2023年9月30日現在の株主名簿に記載されている株主様より適用

総合利回り(優待利回り+配当利回り)

資本政策

- 株式分割 (1 : 1.5)
- 株主優待拡充 (100株以上保有→2,000円クオカード)
- 実質的な増配 (年間配当 (40円) を据え置き)



実質的利回り



金額(円)で分かり易く

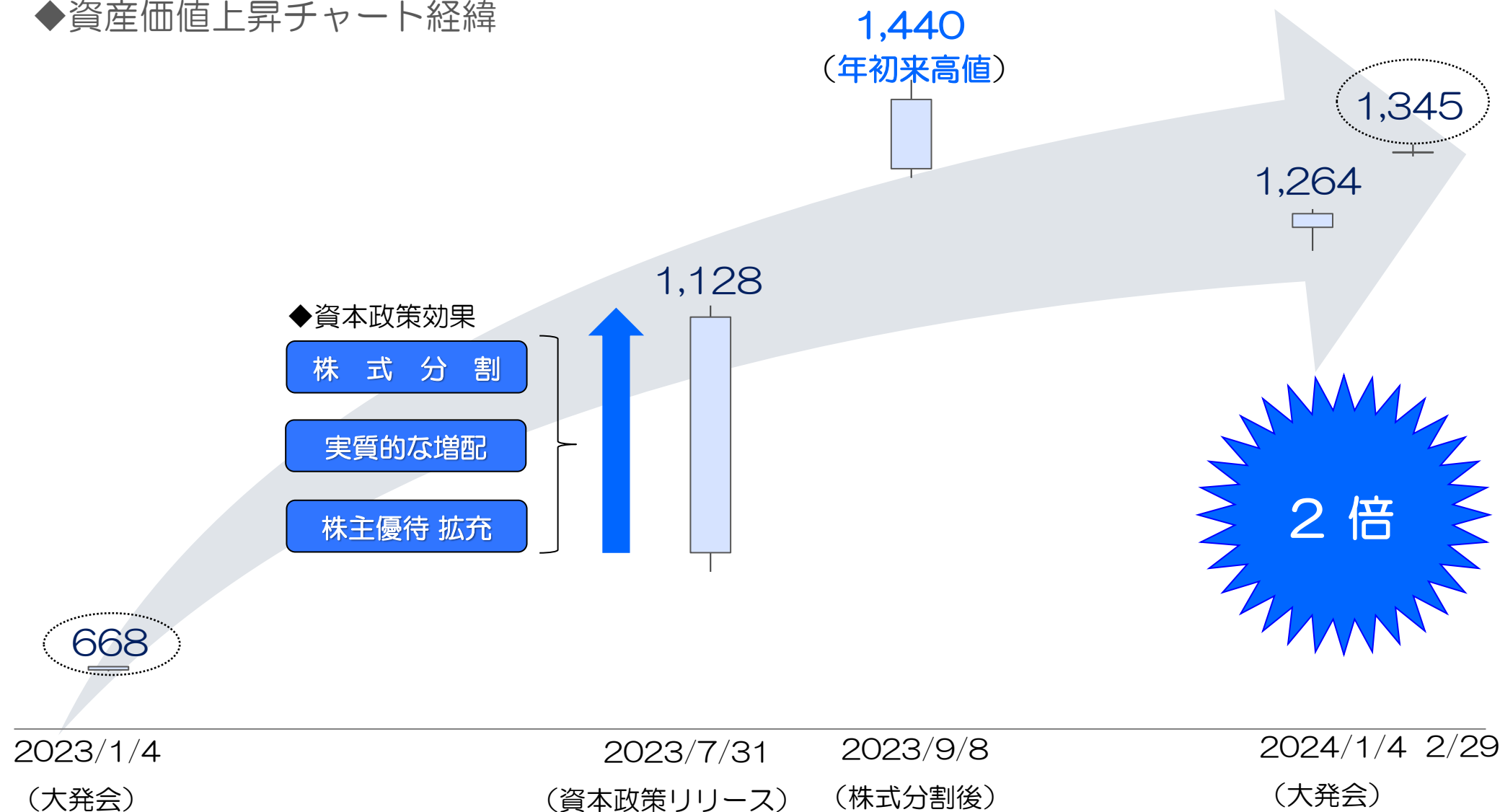
例. 100株保有した場合

- 配当利回り
40円×100株=4,000円
- 優待利回り (クオカード)
2,000円

総合還元 総計 6,000円

(単位：円)

◆資産価値上昇チャート経緯



プライム市場上場維持基準「適合」について

	株主数 (人)	流通株式数 (単位)	流通株式 時価総額 (億円)	流通株式 比率 (%)	一日平均 売買代金 (億円)
上場維持基準	800人以上	20,000 単位	100 億円	35 %	0.2 億円
2021年6月30日 (移行基準日時点)	3,700人	68,759 単位	64.11 億円	49.5 %	0.05 億円
2023年3月31日	5,104人	99,407 単位	104.70 億円	71.6 %	0.1 億円
2023年12月31日	9,808 人(※1)	150,645 単位(※1)	180.62 億円(※2)	72.4 %(※1)	0.27 億円(※3)
適合状況	◎	◎	◎	◎	◎

※1 株主数、流通株式数、流通株式比率は、2023年9月末の株主名簿を基に当社が算出したものです。

※2 流通株式時価総額は、流通株式数に2023年10月～12月の平均株価（1,199円）により算出したものです。

※3 一日平均売買代金は、2023年1月～12月の平均売買代金で株式会社東京証券取引所が計算したものです。

2024年1月31日「プライム市場上場維持基準への適合に関するお知らせ」公表

最適なシステムソリューションを 提供する高信頼企業！

皆様におかれましては、今後ともご支援のほど、
よろしくお願い申し上げます。

* 本資料についてのご注意

本資料は、2024年3月期中における業績および今後の業績見通し、経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料に記載されている株式会社東邦システムサイエンスの将来予想に関する事項は、現時点における情報に基づき判断したものであり、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における状況変化等により変動することがあります。

また、本資料における画像の提供元につきましては、PIXTA(ピクスタ)となります。

なお、いかなる目的であれ、本資料を無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。